

令和6年度における精密構造・噴火履歴等の基礎情報調査の実施者及び具体内容について

火山調査研究推進本部第1回火山調査委員会（令和6年4月23日）において、総合的な評価のための基礎情報の収集・整理と評価に活用する資料の作成における当面の対応として、「電磁気、音波等の調査やボーリングにより、陸域・海域の火山の精密な地下構造・噴火履歴等を調査（以下「基礎情報調査」という。）し、収集、整理」することとしている。

火山調査研究推進本部政策委員会第1回総合基本施策・調査観測計画部会（令和6年6月4日）において、本年度は、総合的かつ基本的な施策及び調査観測計画が策定される前の段階であることから、基礎情報調査は、最近の火山活動の状況や、各機関で行われている調査研究の状況に鑑みて、陸域において霧島山の硫黄山、海域において孀婦海山を調査対象火山とすることが決定された。

その後、文部科学省においてこれらの基礎情報調査の実施の公募を行い、実施する者及び具体内容が以下のように決定された。

○代表機関名： 国立研究開発法人産業技術総合研究所

○参加機関名： 国立研究開発法人海洋研究開発機構

○協力機関名： 国立大学法人九州大学、国立大学法人山形大学

○具体内容：

陸域火山（霧島硫黄山）と海域火山（孀婦海山）に対する基盤情報整備

- ・いずれも実施期間は、令和6年10月1日から令和7年3月31日までである。

サブテーマ1：陸域火山の基盤情報収集に関する取組の概要

- ・概要：水蒸気噴火の発生に資する基盤的情報の整備
- ・研究内容：地下浅所の比抵抗構造調査解析及び低比抵抗層（キャップロック）に対する岩石・鉱物学的特徴の解明
- ・手法：3次元比抵抗構造イメージング及び試錐調査による試料採取・分析
- ・成果概要：水蒸気噴火発生の必要条件の解明。次の水蒸気噴火発生までの準備過程の評価。水蒸気噴火発生ポテンシャル評価に必要な調査手法の検討。

サブテーマ2：海域火山の調査に関する取組の概要

- ・概要：孀婦海山とその周辺海域における地下構造調査とデータ解析
- ・研究内容：音波による地下構造調査
- ・手法・進め方：反射法構造探査等による孀婦海山とその周辺海域の地下構造の可視化
- ・成果概要：孀婦海山と周辺の地下におけるカルデラ構造ならびにマグマ活動の存在を示唆する貫入岩体の有無。複雑な海底地形における音波による地下構造探査に関する技術的知見。